

一般質問

9月定例会では下記9名の議員が一般質問を行いました。一般質問は、現在市が抱えている重要な課題について市長などにたずねるもので、下の表のとおり質問を行いました。ここではその一部を掲載しました。詳しくは12月中旬発行予定の本会議録を図書館等でご覧ください。

- 伊藤玲子……○教育行政の諸問題について
- 松尾 崇……○I.Tの推進について
- 岡田和則……○大船のまちづくりと鎌倉市自転車利用総合計画の提案(その1)
- 千 一……○大船駅エスカレーターについて○大船駅周辺の駐輪場整備について○江ノ電各駅、北鎌倉駅、モノレールのパリアフリーについて○国宝館の看板表示について・国宝館のインターフォンについて○鎌倉図書館のエレベーターについて○交通量の多い道路での安全な歩道の確保・整備について○重度障害者、高齢者等外出支援制度の確立について
- 吉岡和江……○高齢者福祉の充実について
- 見島 晃……○市民が期待する自治体づくりについて(福祉優先の市政・緑保全・不況・行財政改革・市町村合併・清潔、公正・ゴミ問題等にふれながら)
- 小田嶋敏浩……○子どもの人間的自立をつくり出すために(子ども会館、子どもの家の課題について)
- 森川千鶴……○子ども会館・子どもの家について○市街化調整区域の下水道計画について○ごみの減量化・資源化について
- 藤田紀子……○男女共同参画社会推進について○子育て推進について(学校教育等について・子どもの権利条約について)○市長選挙に向けて

子どもの居場所は、今放課後児童対策の充実を

政府は、本年、月に設置した男女共同参画会議が出された「仕事と子育ての両立支援策の方針」に関する意見を、放課後児童の受け入れ体制の整備の方針を打ち出しました。

本市では、地域の子どもたちが自由に遊べるスペースとして「子ども会館」を、保護者の仕事や疾病などの事情により家庭で適切な保護を受けられない子どもに対して家庭的指導を行う場として「子どもの家」放課後児童クラブ」を設置しています。

質問者：「学校の門をくぐる」と



元気な声が響く子ども会館(フレンドリー鎌倉)

ごみ半減計画の達成は有料化と戸別収集を問う

本市では、ごみの分別区分を細分化することにより、ごみと資源を分け、燃えるごみを半減して「三五五」にする「ごみ半減計画」を平成元年に策定し、名越クリーンセンター一元化、最終処分場の延命化環境保全の課題を抱え、目標達成年度を平成十四年度としました。平成七年度に七万、あたる「ごみ焼却量は、平成年度には約〇〇〇減の四万八千、すでに減量されましたが、平成十年度及び平成十二年度はそれぞれ四万九千と横ばいの状況です。

今定例会では、「こうした現状を踏まえ、次のような質問を行います。

質問者：ごみ半減に取り組んでいるにもかかわらず本年の四月、五月は昨年の同期に比べ、

ごみ焼却量が増加している。六月以降の状況を聞きたい。

資源再生部長：六月から八月までの焼却量は前年同期と比較して七百六十減少しており、四月から八月までの五ヶ月間の焼却量は前年同期間と比較する若下回っている。生ごみ処理機の普及台数がこの五ヶ月間で平成十二年度の年間量及数約九〇％に達するなど、駆除のごみ半減キャンペーンの効果が現れていると考える。

質問者：更に、減量化に向けた啓発活動が必要である。今後具体的な取り組みについてどうか。

資源再生部長：ごみの分別による再使用、再生利用を徹底することともに、家庭系、事業系

問われる「パリアフリー」 駅周辺の整備状況

高齢者や障害者の方たちははじめとして、すべての人が利用しやすいよう配慮するとう「パリアフリー」の視点はまちづくりを進める上で欠くことのできないものとなつています。今定例会ではそうした視点から、が集まる駅及び駅周辺の整備について、また、放置自転車問題から発想を転換し、自転車利用するまちづくりなどについて次のような質問を行いました。

質問者：現在、大船駅のエスカレーターは午前六時から午後十時までしか利用できない。それ以降も車いす利用者を使用できるように運行時間を延長することができないか。

都市整備部長：大船駅東西昇降口脇のエスカレーターは市で維持管理を行っており、エス

高齡者や障害者の方たちははじめとして、すべての人が利用しやすいよう配慮するとう「パリアフリー」の視点はまちづくりを進める上で欠くことのできないものとなつています。今定例会ではそうした視点から、が集まる駅及び駅周辺の整備について、また、放置自転車問題から発想を転換し、自転車利用するまちづくりなどについて次のような質問を行いました。

質問者：現在、大船駅のエスカレーターは午前六時から午後十時までしか利用できない。それ以降も車いす利用者を使用できるように運行時間を延長することができないか。

都市整備部長：大船駅東西昇降口脇のエスカレーターは市で維持管理を行っており、エス



多くの人に利用される大船駅西口エスカレーター

システム構築に工夫を ホームページの活用など

我が国のインターネット利用者数(十五歳以上七十九歳以下)の個人におけるインターネット利用者数は、平成十一年末約四百七十七万人に達し、対前年比七四％の増を記録した、と総務省が本年四月に調査結果を発表しました。

表定例会では、一丁の急速な進展がめざましい中、市のホームページについて、次のような質問を行いました。

質問者：市のホームページが公開されていることは承知しているが、初心者にも見やすく改善することも子ども向けホームページを設けられないか。

企画部長：メールマガジンやインターネットを活用したパブリックコメント(※文末参照)の手法などを多角的に検討し

我が国のインターネット利用者数(十五歳以上七十九歳以下)の個人におけるインターネット利用者数は、平成十一年末約四百七十七万人に達し、対前年比七四％の増を記録した、と総務省が本年四月に調査結果を発表しました。

表定例会では、一丁の急速な進展がめざましい中、市のホームページについて、次のような質問を行いました。

質問者：市のホームページが公開されていることは承知しているが、初心者にも見やすく改善することも子ども向けホームページを設けられないか。

企画部長：メールマガジンやインターネットを活用したパブリックコメント(※文末参照)の手法などを多角的に検討し

検証本市の教育課題 環境の整備を要望

新学習指導要領に基づく小・中学校の教育課程の平成十四年度からの実施、また本年六月の学校教育法ほか教育関連法の改正など教育環境の整備が児童・生徒に及ぼす影響、また、学校の安全管理や四月から始まった学校評価制度などについて今定例会では、次のような質問を行いました。

質問者：学校教育法などの改正に関連してボランティア活動

新学習指導要領に基づく小・中学校の教育課程の平成十四年度からの実施、また本年六月の学校教育法ほか教育関連法の改正など教育環境の整備が児童・生徒に及ぼす影響、また、学校の安全管理や四月から始まった学校評価制度などについて今定例会では、次のような質問を行いました。

質問者：学校教育法などの改正に関連してボランティア活動

福祉施策の現状は 高齢者・障害者への取り組み

介護保険制度スタートから一年半が経過し、本年十月からは六十五歳以上の保険料が差額徴収となります。こうした中、今定例会では高齢者福祉、障害者福祉に関連して次のような質問を行いました。

質問者：本市の高齢化率が二〇％を超えて中、特別養護老人ホームなどの基盤整備は県下で最低であり、老人福祉費を六十五歳以上の人口一人当たりで比較しても最低である。原局の認識を聞きたい。

保健福祉部長：事業主に対しては障害者雇用奨励金制度があるが、雇用促進を図っているが、最低賃金に達していないこと、そのほか、その意図から地域作業所は重要な受け皿になる。作業所の新設を含めて今後、県とも調整を図りながら検討を進めていきたい。地域作業所ではないが、老人福祉費については関係する予算科目の抽らえ方によつ

介護保険制度スタートから一年半が経過し、本年十月からは六十五歳以上の保険料が差額徴収となります。こうした中、今定例会では高齢者福祉、障害者福祉に関連して次のような質問を行いました。

質問者：本市の高齢化率が二〇％を超えて中、特別養護老人ホームなどの基盤整備は県下で最低であり、老人福祉費を六十五歳以上の人口一人当たりで比較しても最低である。原局の認識を聞きたい。

保健福祉部長：事業主に対しては障害者雇用奨励金制度があるが、雇用促進を図っているが、最低賃金に達していないこと、そのほか、その意図から地域作業所は重要な受け皿になる。作業所の新設を含めて今後、県とも調整を図りながら検討を進めていきたい。地域作業所ではないが、老人福祉費については関係する予算科目の抽らえ方によつ

駐車を駐輪場に一部提供してもらうことはできないか。

都市整備部長：銀行の駐車場利用による駐輪場確保については状況を調査し、数カ所の銀行に相談したが、不景気などから処分の可能性もあり予測が立たないとの判断から希望にこたえられないとの回答であった。

質問者：新たな駐輪場整備の見通し、考えについて聞きたい。

都市整備部長：大船駅西口周辺の自転車等、放置台数は六百台ほどであり、今後調査は計画収容台数を把握していきたい。駐輪場整備を推進するために企業等の用地などについて理解を得て、積極的な対応を図っていききたい。実施時期については現状、駐輪場の稼働率が九〇％となっている状況から、地権者の了解が得られ次第、実施していききたい。

質問者：自転車置き場の状況を改善するため、監視を強化できないか。

都市整備部長：六月から監視員を配置した。

後期実施計画において、図書貸出しサービスについて、図書は平成十五年度に予定しており、スポーツ施設の予約管理システムの導入については平成十六年度以降の計画として取り組んでいる。

質問者：それぞれ、年以後の計画である。図書の貸出しは予約をインターネットのメールで受け付けると、スポーツ施設の予約管理システムはホームページで公開し、同様にメールで予約できるような方法を提案するが、どうか。

生涯学習部長：図書の貸出し予約をメールで受け付けることは可能であり、今後検討し

付するようになった。本市では既に意見聴取を行うようにしているが、文書の交付は鎌倉市立小・中学校管理運営に関する規則に明記されていない。また、検閲されていない。

質問者：学校の統廃合、学区の弾力化について考えを聞きたい。

教育総務部長：小学校の児童数は本年に入り増加し、今後五年間は横ばいで推移すると思われる。しばらくは推移を見守っていききたい。学区の弾力化は指定校の変更許可基準により運用しており、今後もこの基準に基づき弾力的に運用していききたい。一部の自治体で行われている学校の自由選択については今後、総合的に研究していききたい。

質問者：四月から始まった学校評価制度の状況について聞きたい。

学校教育担当部長：小学校に五名を委嘱し、その後学校の状況、年間活動計画等の情報提供を行い、授業参観、給食試食会実施のほか、特色ある学校づくりについての意見交換などさまざまな取り組みをしているところである。

質問者：学校の安全管理について聞きたい。

学校教育担当部長：学校評価に費用負担のあり方等について調査研究をしていききたい。平成十五年度に保険料の改定が予定されているが、改定に向けて利用者の低さ、生活実態、サービス内容などさまざまな角度から調査し、市民の声を反映させることが必要と考えるが今後の取り組みを聞きたい。

保健福祉部長：介護保険は三年間を事業期間とし平成十五年度が改定年度となる。そのため調査を今年度を実施してほしいとの県の希望もあり、高齢者の実態調査実施を予定している。指摘の点は県との協議や高齢者保健福祉計画推進委員会等の意見も聞きながら調査項目に反映させていきたい。